

顎関節の痛みを訴える患者さんが貴院に来院された時、どのような治療や指導をしていますか？
開口時の顎関節付近の痛みや頭痛、首の痛み、嚥下しにくいなどの症状を訴える患者さんは、生活の中の習慣癖(偏咀嚼、頬杖、うつむく姿勢、くいしばり、夜間の歯ぎしりなど)、歯の接触癖、不安定な咬合などが原因と言われています。口を開けるストレッチで痛みが強くなる場合もあります。講師の川村氏は、splint治療と並行した安全な顎のストレッチ体操を35年以上研究しています。今回は、歯科衛生士で川村氏の医院の患者でもある小林氏のご協力も得て臨床に役立つ講演を企画しました。是非、ご参加ください。

【日時】 3月1日(金) 19:00～20:50

【会場】 宮城県保険医協会研修ルーム・web 併用

(仙台市青葉区本町 2-1-29 仙台北町ホンマビル 4F)

※お車でお越しになられる方は会場周辺の有料駐車場をご利用ください。

※市営地下鉄広瀬通駅から徒歩1分

※ご注意 セキュリティの関係で表入口(広瀬通側)は閉扉されていますので、裏の通用口からお入り下さい。裏の通用口が施錠されている場合は、事務局(Tel. 022-265-1667)までお電話下さい。

【演題・講師】

『顎関節症のリハビリを探して～患者さんと一緒に～』

川村秋夫氏(川村歯科・かみ合わせ矯正歯科医院院長)

『顎関節症～噛み合わせ治療中の口腔の変化』

小林淑子氏

【参加費】 無料

【参加対象】 どなたでも参加可

講師御略歴、申し込み方法は裏面をご覧ください。

【申込・問合せ】

宮城県保険医協会 事務局

TEL : 022-265-1667

FAX : 022-265-0576

E-mail : miyagi-hok@doc-net.or.jp

HP : <http://miyagi-hok.org>

【川村秋夫氏コメント・ご略歴】

顎関節の痛みで口が開かない患者さんが来院された時、どのような治療や指導をしますか？

今回は、当院の患者でもある歯科衛生士の小林淑子さんと一緒に顎関節症の治療の体験談を交えてお話しします。開口時の顎関節付近の痛みや頭痛、首の痛み、嚥下しにくいなどの症状を訴える患者さんは、生活の中の習慣癖（偏咀嚼、頬杖、うつむく姿勢、くいしばり、夜間の歯ぎしりなど）、歯の接触癖（TCH;toothContactingHabit）、tappingの咬合接触点の不安定などが原因だと考えられます。症状は、咀嚼筋だけでなく頸部痛もあります。splint治療の調整方法と一緒に、より安全な顎の体操としての逆モーション瞬間脱力法（操体法PNF）、痛みから逃げるリズム体操と等尺性運動などをお話します。

1977年：東北大学歯学部卒業 口腔外科入局 インプラント材料の研究、1980年：インプラント臨床応用 仙台市に開業、1983年：インプラント治療後に起こる咬頭嵌合位の不安定症の臨床研究、2004年：日本全身咬合学会公開講演 東京歯科大「聴覚研究会」講演、2022年 日本全身咬合学会 一般講演優秀賞、著書『からだの使い方とのえ方』共書（2008年合同出版）、『不定愁訴の改善を考えた咬合補綴法』共書（1992年 デンティスト社）

【小林淑子氏コメント・ご略歴】

2022年12月右顎関節から音がして口が開きづらく、固いものが噛めなくなり、2023年3月に顎口腔外科を受診し顎関節症の診断を受けました。同年6月から川村歯科医院に通院し、スプリント装置や天然歯を削らないダイレクトスプリント（プラスチック充填物）で噛み合わせの治療をしていただいています。一患者として顎関節症の治療を受けての感想と、現在実践している顎のリハビリ体操をご紹介します。

1980年：尚綱女学院短期大学家政科食物栄養専攻科卒業、1981年：宮城歯科衛生士学院卒業～1985年：仙台市内歯科診療所勤務、2008～2018年：介護老人保健施設勤務、1998年～：名取市保健センター母子保健推進員現在に至る

歯科学術研究会（3/1・金）参加申込方法

※2月26日（月）までにお申し込み下さい。

本企画をweb参加する場合にはzoomウェビナーの事前登録が必要です。まずは、当会ホームページ

(<http://miyagi-hok.org>)の「催し案内」からお手続きください。下記QRコードからもお申込み可能です。

お申込み頂いた方には、別途ウェビナー事前登録の案内をお送りします。



記入したメールアドレスにメールが届かない場合はご連絡ください。

会場参加の場合は、お電話にて会場参加希望とお伝えの上で「氏名・所属先・参加人数」をお知らせください。